

A Brief Note No.197

発行日：2009.7.9

横浜市営地下鉄体験記

千葉市花見川区 小林 敬

朝日新聞の投書欄で見つけた。

「横浜市営地下鉄は全車両・全席優先席になっている。若者が沢山乗っていて、皆眠っていた」というような内容だった。ちょっと興味を感じたので、早速乗りに行ってみることにした。

横浜市営地下鉄は、あざみ野・湘南台間を走るブルーラインと、日吉・中山間を走るグリーンラインの二つの路線が走っている。



< 横浜市交通局 web より >

ある雨の午後、あざみ野で絵画展を見た後地下鉄に乗った。

始発駅のプラットフォームに止まっている電車、確かにどの車両にも「優先席」の表示がある。

平日の午後なので閑散としている。席に着いて周りを見渡すと、学生と買い物の主婦がほとんどで、ところどころに老人も目立つ。車内アナウンスが、「全車両優先席なので、皆で譲り合って座るように」というようなことを報じていた。

あざみ野を出た電車は、しばらく走ると地上に出た。センター北駅とセンター南駅でグリーンラインと乗り換えられるようになっている。途中で乗降する人は買い物姿の女性か老人が多いようだが、時々学生らしい若者が乗ってきたり、降りていったり。杖をついた老人が乗ってきても、

空いているので席の譲り合いの場面はなく時が流れていく。新しくできた町という印象の景色が続くうちに新横浜駅に到着。

新横浜を過ぎるとビジネスマンが増えてくるが、相変わらず席を譲り合うほどの混雑にはなっていない。

しかし、よくよく車内を眺めて見ると大股を開いてふんぞり返って座っている乗客は皆無であることに気が付いた。

ほどなく電車は横浜駅に到着。ここでまた大きく乗客の入れ替わりがあり、ビジネスマンが多くなってきた。

伊勢佐木長者町で下車するまでの35分の間、席を譲り合う光景は一度も見ずじまいった。

冒頭の新聞の投書欄の文章は、「全車両全席優先席」で「常にどこの車両でも譲るべき人が現れたら譲ろう」という精神を柱にしている筈の車内を見たら、「座っている若者たちが皆寝て(寝たふり?)いた」というような書きっぷりになっていた。

そんな光景もあり得るなと思いはしたものの、実際に乗ってみたらそのような光景は見られなかった。

横浜市営地下鉄が高らかに打ち出した「全車両全席優先席」は大変面白いアイデアだと思う。と同時に、この投書者が書くような現実もあるのかもしれない。

「Everyman's duty is no man's duty」という結果になることなく、この投書者の杞憂に終わり、「さすが、世界に名だたる横浜の地下鉄!!」となることを祈りたい。

20090701

以上